

2005年12月21日

各位

会社名 新日鉱ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清水 康行  
コード番号 5016  
問合せ先 総務グループ(IR・広報担当)  
シニアオフィサー 八牧暢行  
電話 03-5573-5123

### ニッコーマテリアルズ・ユーエスエー社の電解銅箔生産工場の閉鎖について

当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目,社長:清水康行)の連結子会社である株式会社日鉱マテリアルズ(本社:東京都港区虎ノ門二丁目,社長:山梨功雄,以下「日鉱マテリアルズ」)は,同社の連結子会社であるニッコーマテリアルズ・ユーエスエー社(本社:米国アリゾナ州,日鉱マテリアルズ100%出資,以下「NMUS社」)の電解銅箔生産工場を下記のとおり閉鎖することといたしましたので,お知らせいたします。

### 記

#### 1. 内容

2006年4月末をもって,日鉱マテリアルズグループの米国における電解銅箔生産拠点であるNMUS社チャンドラー銅箔工場を閉鎖する。なお,チャンドラー銅箔工場閉鎖後の米国市場における販売については,顧客との間で十分な協議を行うこととする。

#### 2. 背景・理由

日鉱マテリアルズグループは,日本,米国,ドイツ,フィリピンの4カ国に電解銅箔生産工場を有し事業を展開してきたところ,米国の電解銅箔事業については,顧客のアジアシフトおよび世界的な生産設備の過剰等の影響により,2000年以降,販売量が減少し,業績が悪化した。そのため,米国内拠点の集約による効率的な開発・生産体制の構築および技術支援による生産性の向上等に取り組んできたが,販売の回復は見られず,加えて,昨年からの銅価高騰によるマージンの圧迫もあり,今後の米国における電解銅箔事業の業績回復は困難と判断した。

#### 3. 当社連結業績への影響

本工場閉鎖に伴い,固定資産減却,従業員退職等に関連する費用として,約130億円の特別損失を見込むが,これについては,平成17年11月10日発表の平成18年3月期連結業績予想に織り込み済みであるため,上記業績予想への影響はない。

#### 4. その他

日鉱マテリアルズグループでは,本措置により,今後,日本,ドイツおよびフィリピンにおける電解銅箔工場の生産性のさらなる向上等,事業の競争力強化に努めることにより,引き続き,本製品を効率的かつ安定的に供給していく。

以上

(ご参考)

1. NMUS社の概要

- (1) 社名 ニッコーマテリアルズ・ユーエスエー社  
( Nikko Materials USA, Inc. )
- (2) 本社 米国アリゾナ州チャンドラー
- (3) 社長 首藤忠夫
- (4) 資本金・資本準備金 238 百万ドル
- (5) 売上高 約 189 百万ドル ( 2004 年度実績 )
- (6) 事業内容 電解銅箔およびスパッタリングターゲットの製造・販売
- (7) 従業員数 約 270 名 ( 2005 年 12 月 1 日現在 )

2. NMUS社チャンドラー銅箔工場の概要

- (1) 所在地 米国アリゾナ州チャンドラー
- (2) 生產品 電解銅箔
- (3) 生産能力 約 700 t / 月
- (4) 生産実績 約 300 t / 月 ( 2005 年 7-9 月実績 )
- (5) 従業員数 約 220 名 ( 2005 年 12 月 1 日現在 )